



集	荻埧南営農生産組合	67	才	33	名	-	水稲 大豆 園芸野菜	29.2 13.9 0.1	ha ha ha	水稲 大豆 飼料用米 園芸野菜	36.0 10.0 5.0 1.0	ha ha ha ha		低コスト化 法人化の取組	2					
集	荻埧北生産組合	62	才	14	名	-	水稲 大豆 園芸野菜	27.0 13.2 2.3	ha ha ha	水稲 大豆 園芸野菜	20.0 8.0 3.0	ha ha ha		低コスト化 法人化の取組	3					
集	六軒丁営農生産組合	71	才	21	名	-	水稲 大豆	15.6 15.2	ha ha	水稲 大豆 野菜	24.0 10.0 1.0	ha ha ha		低コスト化 法人化の取組	1					
集	新城野営農生産組合	67	才	11	名	-	水稲 大豆	14.1 9.0	ha ha	水稲 大豆	16.0 11.0	ha ha		低コスト化 法人化の取組	2					
集	下平針営農生産組合	64	才	10	名	-	水稲 大豆	22.2 17.1	ha ha	水稲 大豆	24.0 18.0	ha ha		低コスト化 法人化の取組	2					
集	田中谷地中営農生産組合	70	才	9	名	-	水稲 大豆 野菜	19.9 6.3 3.4	ha ha ha	水稲 大豆 野菜	20.0 6.5 3.5	ha ha ha		低コスト化 法人化の取組	4					
法	農事組合法人 中埧ファーム育み	65	才	27	名	有	水稲 大豆 野菜			水稲 大豆 野菜		ha ha ha		低コスト化	5					
認農	認定農業者 A	71	才	1	名	-	水稲 飼料用米	7.3 3.9	ha ha	水稲 飼料用米	10.0 5.0	ha ha		低コスト化	5					
認農	認定農業者 B	70	才	2	名	有	水稲 新規需要米 肥育牛	2.3 2.0 11	ha ha 頭	水稲 新規需要米 肥育牛	5.0 2.0 15	ha ha 頭		低コスト化	5					
認農	認定農業者 C	71	才	2	名	有	水稲 大豆 飼料用米	8.0 2.2 1.0	ha ha ha	水稲 新規需要米 園芸	12.0 5.0 0.5	ha ha ha		低コスト化	5					
	D	27	才	1	名	-	野菜	0.7	ha	野菜	0.7	ha		低コスト化	5					

法	農事組合法人 加賀ホース	46 才	6 (12) 名	有	水稲 大豆 飼料用米	15.8 ha 4.6 ha 4.2 ha	水稲 新規需要米	22.0 ha 3.0 ha ha		低コスト化	5					
法	農事組合法人 中田アグリ	71 才	18 名	有	水稲 大豆	0.0 ha 0.0 ha	水稲 大豆 野菜	28.8 ha 20.0 ha 1.0 ha		低コスト化	5					
法	株式会社舞台ファーム	58 才	45 (うちパー名 ト22)	有	園芸	0.0 ha ha	園芸	4.5 ha ha		高付加価値化 低コスト化	5					産地生産基盤パワー アップ事業
認農	認定農業者 E	63 才	2 名		水稲 大豆	8.2 ha 4.5 ha	水稲 大豆	9.0 ha 4.5 ha		低コスト化	7					

### 3. 2 から見た中心経営体の確保状況

中心経営体は十分確保されている / 中心経営体はいるが十分ではない / 中心経営体がない

### 4. 将来の農地利用の在り方

取組事項	対応
担い手に集積・集約化する	
担い手の分散錯圃を解消する	
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する	
耕作放棄地を解消する	
その他[右欄に自由に記載]	

### 5. 4 についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	
担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	
その他[右欄に自由に記載]	

### 6. 今後の地域農業の在り方

- ・集落営農組合を法人化し農地を集積し、地域農業の担い手として位置付けする。
- ・集落営農組織の法人化に合わせ、各経営体が所有、管理している機械設備は可能な限り有効活用し、更新にあたっては整理統合を行い、生産コストの削減と効率的な機械利用を行う。
- ・集落営農組織の法人化により、余剰労力を有効活用した園芸作物の取組を行う。
- ・当地域は畜産経営も盛んであり、畜産農家と連携し資源循環型農業の確立を図る。
- ・営農組合と個別経営体の協力体制を築き、農地の保全を行う。